

NY マーケットレポート（2014 年 6 月 17 日）

昨晚の NY 外国為替市場は、序盤に発表された米消費者物価指数が市場予想を上回り、2013 年 2 月以来 1 年 3 ヶ月ぶりの大きなプラス幅となったことを受けて、FRB が利上げ時期を早めるとの観測が広がったことから、ドルが主要通貨に対して堅調な動きとなりました。また、米長期金利が上昇したこともドルの押し上げ要因となりました。しかし、米住宅着工件数が予想を下回ったことや、緊迫するイラク情勢に対する懸念も影響して、上値は限定的となりました。その後は、FOMC の結果発表を控えて様子見ムードも強く、ドル円・クロス円は狭いレンジ内の展開が続きました。

2014/ 6/17 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	102.03	102.08	101.82
EUR/JPY	138.35	138.45	138.18
GBP/JPY	173.27	173.31	172.88
AUD/JPY	95.42	95.76	95.19
EUR/USD	1.3560	1.3588	1.3556

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	102.06	101.95
EUR/JPY	138.54	138.28
GBP/JPY	173.28	172.85
AUD/JPY	95.52	95.32
EUR/USD	1.3579	1.3556

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	14975.97	+42.68
ハンセン指数	23203.59	-97.08
上海総合	2066.70	-19.28
韓国総合指数	2001.55	+7.96
豪ASX200	5400.67	-11.64
インドSENSEX指数	25521.19	+330.71
シンガポールST指数	3274.44	-15.82

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6766.77	+12.13
仏CAC40	4536.07	+26.02
独DAX	9920.32	+26.34
ST欧州600	346.34	+0.82
西IBEX35指数	11058.50	+50.30
伊FTSE MIB指数	21996.40	+20.14
南ア 全株指数	50899.70	+135.99

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	102.15	102.25	101.95
EUR/JPY	138.35	138.50	138.27
GBP/JPY	173.25	173.46	173.05
AUD/JPY	95.36	95.51	95.30
NZD/JPY	88.41	88.51	88.28
EUR/USD	1.3546	1.3572	1.3536
AUD/USD	0.9337	0.9366	0.9330

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16808.49	+27.48
S&P500	1941.99	+4.21
NASDAQ	4337.23	+16.13
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	15055.89	+15.46
ブラジルボルサ指数	42612.64	+16.39
ロシアモスクワ指数	54299.95	-329.60

6/18 経済指標スケジュール

08:50 【日】5月貿易収支[通関ベース]
 08:50 【日】5月日銀金融政策決定会合・議事要旨公表
 09:00 【豪】4月コンファレンスボード景気先行指数
 09:30 【豪】5月ウエストバック先行指数
 14:30 【日】5月百貨店売上高
 17:00 【南ア】5月消費者物価指数
 17:00 【南ア】1Q経常収支
 17:30 【英】6月英中銀 議事録
 18:00 【欧】4月建設支出
 18:00 【スイス】6月ZEW景況感調査
 20:00 【米】MBA住宅ローン申請指数
 20:00 【南ア】4月実質小売売上高
 21:00 【ポーランド】5月鉱工業生産販売
 21:00 【ポーランド】5月生産者物価指数
 21:30 【米】1Q経常収支
 21:30 【カナダ】4月卸売売上高
 03:00 【米】FOMC 金融政策発表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1272.00	-3.30
NY 原油	106.36	-0.54
CMEコーン	438.75	-2.25
CBOT 大豆	1398.25	-23.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.48%	0.46%
3年債	0.99%	0.94%
5年債	1.75%	1.70%
7年債	2.26%	2.21%
10年債	2.65%	2.60%
30年債	3.44%	3.41%

6/18 主要会議・講演・その他予定

- ・米FOMC政策発表
- ・イエレン米FRB議長 定例会見
- ・バーナンキ前FRB議長 講演

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 101.98 ユーロ/円 138.36 ユーロ/ドル 1.3567

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6758.69	+4.05	ダウ INDEX FUTURE	16720	+18
仏 CAC40	4520.94	+10.89	S&P500 FUTURE	1932.60	+2.40
独 DAX	9912.47	+28.49	NASDAQ FUTURE	3779.00	+6.50

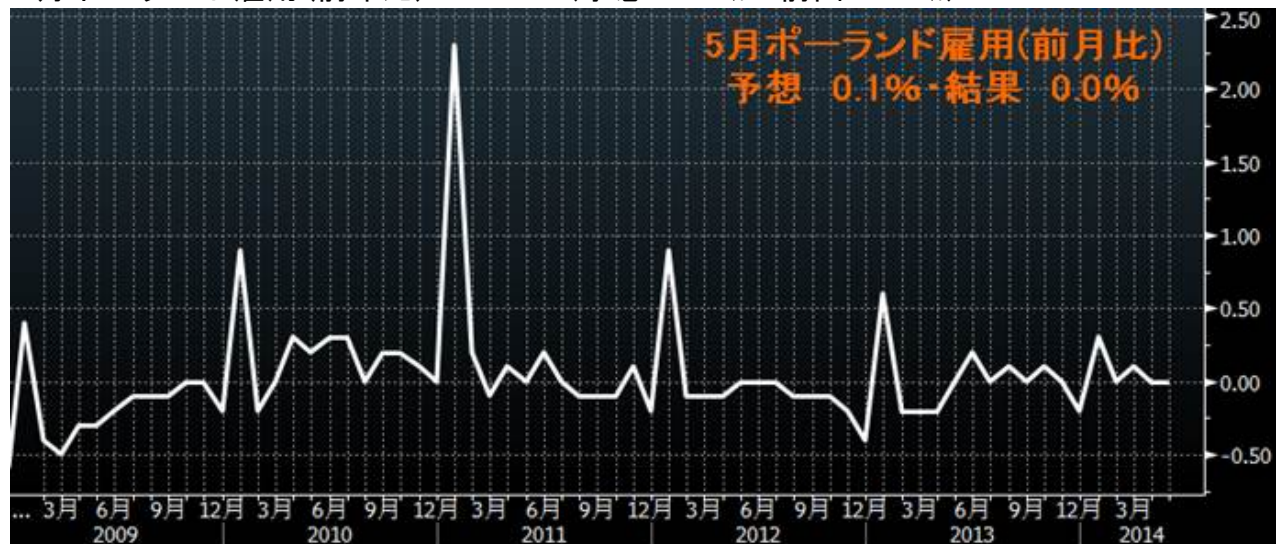
(出所: SBILM)

21:00

《 経済指標の結果 》

5 月ポーランド雇用(前月比) 0.0% (予想 0.1%・前回 0.0%)

5 月ポーランド雇用(前年比) 0.7% (予想 0.8%・前回 0.7%)



(出所:ブルームバーグ)



(出所:ブルームバーグ)

21 : 30

《 経済指標の結果 》

5月米住宅着工件数 100.1 万件(予想 103.0 万件・前回 107.1 万件)前回発表の107.2 万件から107.1 万件に修正

5月米住宅着工件数(前月比) -6.5%(予想 -3.9%・前回 12.7%)前回発表の13.2% から12.7%に修正

5月米建設許可件数 99.1 万件(予想 105.0 万件・前回 105.9 万件)前回発表の108.0 万件から105.9 万件に修正

5月米建設許可件数(前月比) -6.4%(予想 -0.9%・前回 5.9%)前回発表の8.0% から5.9%に修正



(出所:ブルームバーグ)



経済指標データ

《米住宅着工・許可件数》

	5月	4月	3月	2月	1月	12月
住宅着工件数	100.1	107.1	95.0	92.8	89.7	103.4
一戸建て住宅	62.5	66.4	63.5	58.9	58.3	67.5
集合住宅	37.6	40.7	31.5	33.9	31.4	35.9
許可件数	99.1	105.9	100.0	101.1	93.9	102.2
一戸建て住宅	61.9	59.7	60.0	59.3	59.8	61.7
集合住宅	37.2	46.2	40.0	41.8	34.1	40.5

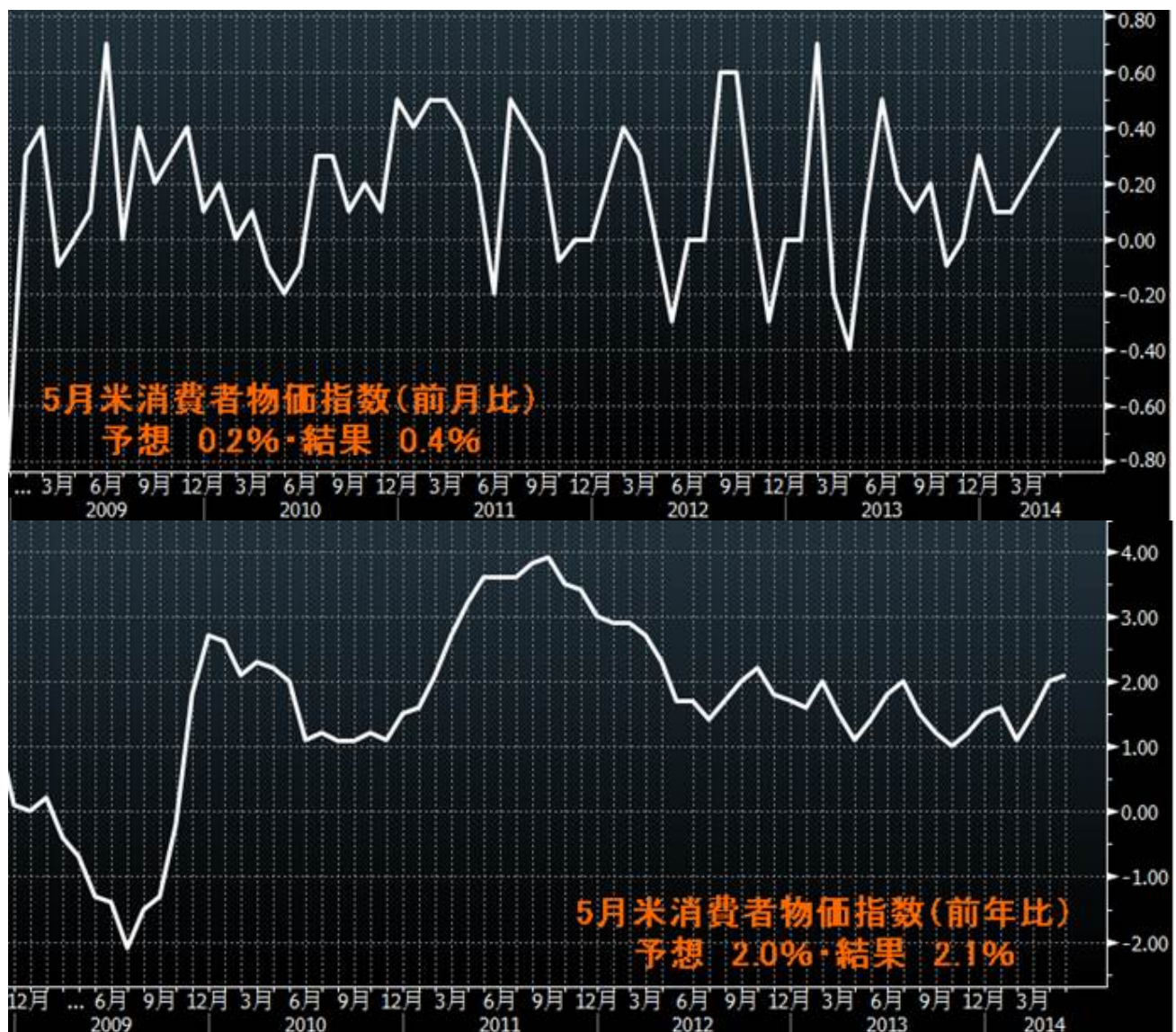
前月比 (%)

住宅着工	-6.5	12.7	2.4	3.5	-13.2	-6.4
住宅建設許可	-6.4	5.9	-1.1	7.7	-8.1	-1.4

21 : 30

《 経済指標の結果 》

5月米消費者物価指数 (前月比)	0.4%	(予想 0.2%・前回 0.3%)
5月米消費者物価指数[コア]	0.3%	(予想 0.2%・前回 0.2%)
5月米消費者物価指数 (前年比)	2.1%	(予想 2.0%・前回 2.0%)
5月米消費者物価指数[コア]	2.0%	(予想 1.9%・前回 1.8%)

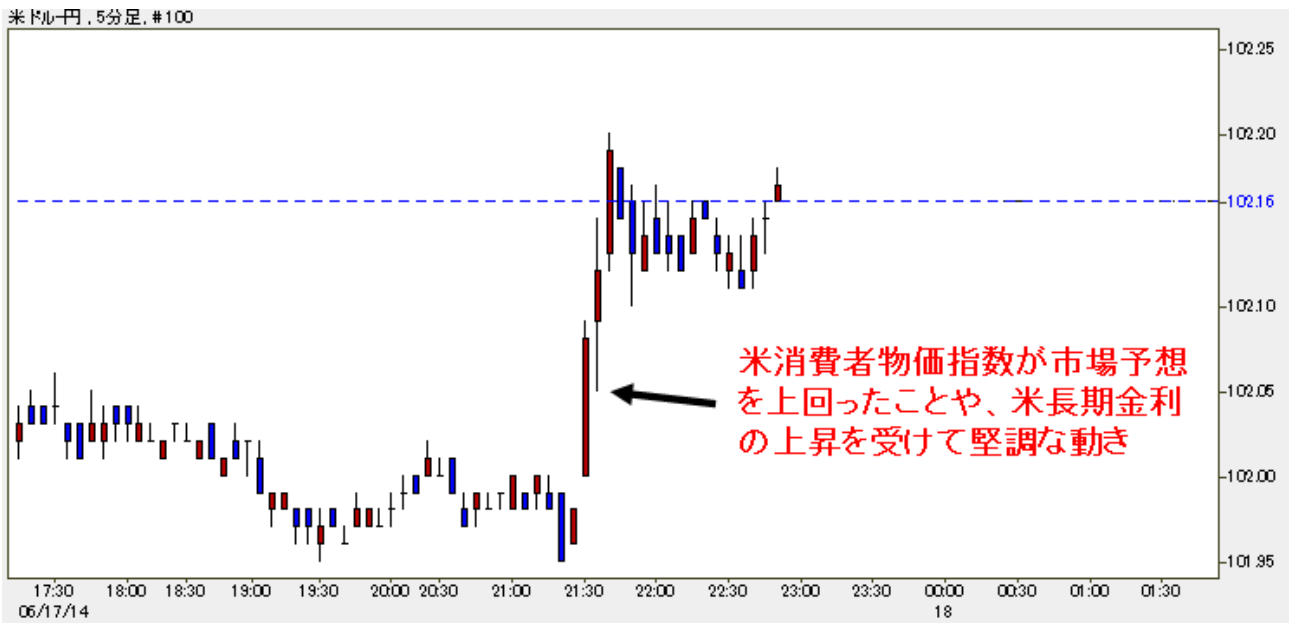


(出所:ブルームバーグ)

指標結果データ

《消費者物価指数》

	5月	4月	3月	2月	1月	12月
全品目	0.4	0.3	0.2	0.1	0.1	0.2
除く食品・エネルギー	0.3	0.2	0.2	0.1	0.1	0.1
エネルギー	0.9	0.3	-0.1	-0.5	0.6	1.6
サービス	0.4	0.1	0.4	0.2	0.3	0.1
食品・飲料	0.5	0.4	0.4	0.4	0.1	0.1
居住費	0.3	0.0	0.4	0.2	0.4	0.2



22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16740.36	-40.65
ナスダック	4312.03	-9.08

(出所: SBILM)

23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、5月の米住宅着工件数が市場予想を下回ったのを嫌気した売りが出る一方で、割安感が出た銘柄を買い戻す動きが交錯し、主要株価はもみ合いの展開が続いている。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で48ドル安まで下落したものの、その後はプラス圏まで値を戻す動きとなっている。

《 経済指標のポイント 》

(1) 5月の米住宅着工件数は、年率換算で前月比-6.5%の100.1万件と4ヵ月ぶりの減少となり、市場予想も下回る結果となった。前年同月比では+9.4%だった。着工件数の先行指標となる建設許可件数は、前月比-6.4%の99.1万件となり、2ヵ月ぶりのマイナス、市場予想を下回った。前年同月比では-1.9%。

①景気回復を支える主要分野である住宅市場は、寒波の影響で1-3月に鈍化したが、前回5ヵ月ぶりの高水準となった反動が考えられる。

②着工件数では、主力の一戸建て住宅は-5.9%の62.5万件、それ以外の集合住宅は-7.6%の37.6万件。

③地域別では、北東部が-25.2%、中西部は-16.5%、西部は-16.3%、最大市場の南部は+7.3%だった。

(2) 5月の米消費者物価指数は、前月比+0.4%と7ヵ月連続のプラスとなった。食品価格やエネルギー価格の上昇などが全体を押し上げた。伸び幅では、2013年2月以来1年3ヵ月ぶりの大きな上昇率となった。緩やかな景気回復を背景に、消費者物価は上昇の動きがやや強まってきている。前年同月比は+2.1%だった。

①変動が激しいエネルギーと食品を除いたコア指数は、前月比+0.3%、前年同月比は+2.0%となった。

②品目別では、食品が+0.5%と2011年8月以降で最も大きな上昇率となった。果物・野菜や肉類、魚類、乳製品、野菜・果物で上昇が続いた。エネルギーは+0.9%、ガソリンの値上がりが続く、電力も値上がりした。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6766.77	+12.13
仏 CAC40	4536.07	+26.02
独 DAX	9920.32	+26.34
ストック欧州 600 指数	346.34	+0.82
ユーロファースト 300 指数	1387.62	+3.67
スペイン IBEX35 指数	11058.50	+50.30
イタリア FTSE MIB 指数	21996.40	+20.14
南ア アフリカ全株指数	50899.70	+135.99

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、前日までの下落で割安感が出た銘柄を中心に買いが入る動きが優勢となったものの、イラク情勢の先行きに対する警戒感も強く、主要株価はやや上値の重い動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16788.46 (+7.45)、S&P500 1938.15 (+0.37) ナスダック 4337.74 (+16.63)

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、5月の米消費者物価指数が市場予想を上回る伸びを示したため、投資家のリスク志向が強まり米国債を売る動きが広がった。

午前の利回りは、30年債が3.44%（前日3.39%）、10年債が2.64%（2.60%）、7年債が2.25%（2.20%）、5年債が1.74%（1.70%）、3年債が0.98%（0.95）、2年債が0.48%（0.47%）。

《 欧州のポイント 》

①スイス経済省経済事務局は、2014年および2015年の経済成長見通しを下方修正した。スイス経済省経済事務局は「2015年にかけて景気拡大が続くと見込んでいる。しかし輸出が減速しており、3月の予測に比べて回復ペースがやや鈍りそうだ」との見方を示した。2014年の成長率予想を2.2%から2.0%に、2015年を2.7%から2.6%に引き下げた。消費者物価指数は2014年を3月予想のプラス0.1%で据え置き、2015年は0.4%とした。

②ドイツのシュタインマイヤー外相は、ウクライナをめぐる状況が悪化する中、来週のEU首脳会議では対ロシア追加制裁問題について話し合う可能性がある」と述べた。エストニア、ラトビア、リトアニアの各外相との会談後、エストニアの首都タリンで記者会見を開いた。シュタインマイヤー外相は「ウクライナで続く不安定化にロシアの責任があるとすれば、追加の決断は避けられないだろう」と指摘。EUが仲介したウクライナとロシアのガス協議が決裂したことについては、「ウクライナ危機をめぐる政治的な解決には程遠い」ことを示しているとの認識を示した。

③スペイン中銀総裁は、下院演説で資産評価額が過去最高に上昇する中、世界の緩和的金融政策や投資家のリターン志向がリスクになっていると述べた。総裁は「投資家によるリターンの追求を背景に一部評価額は最高となっている」と指摘。金融市場は金融刺激策の解除期待に伴う急激な変化の影響を受けやすくなっているとの認識を示した。また、「財政健全化プロセスを成し遂げることは、スペインの経済政策の優先事項であり続けなければならない」と述べた。

④カーニー英中銀総裁は、中銀年次報告書で、住宅市場の抑制に向け必要ならばさらなる行動を取ることをためらわないと表明した。総裁は、BOE内に設置されたFPC（金融監督委員会）が住宅市場に対する刺激策縮小の措置を11月に発表したと付け加えた。総裁はまた、低水準で予測可能な金利環境は「金融市場と家計で過剰なリスクテイク」を促す可能性がある」と警告した。

⑤ECBは、期間7日の流動性供給オペを実施し、150行に総額978億8700万ユーロを供給したと発表した

⑥ギリシャ財務省高官は、数週間内に中期債を20億-30億ユーロ規模で発行する準備をしていると明らかにした。4年半ぶりの低水準で推移する国債利回りを活かした資金調達を狙う。EUとIMFの金融支援を受けているギリシャは、今年4月に4年ぶりに債券市場に復帰し、5年債で30億ユーロを調達した。高官は、「夏に新発債を発行するのには好都合な市場の状況」と説明。また、イールドカーブの空白を埋めることが主目的だと

明らかにした。ギリシャは、債務危機中には3ヵ月と6ヵ月物の短期証券を発行し、4月に5年債を発行。その他の年は10-30年となっているため、中期の部分に空白がある。

3:25

NY金は、中心限月が前日比3.30ドル安の1オンス=1272.00ドルで取引を終了した。

4:20

NY原油は、中心限月が前日比0.54ドル安の1バレル=106.36ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1272.00	-3.30
NY 原油	106.36	-0.54

(出所:SBILM)

《 NY 金市場 》

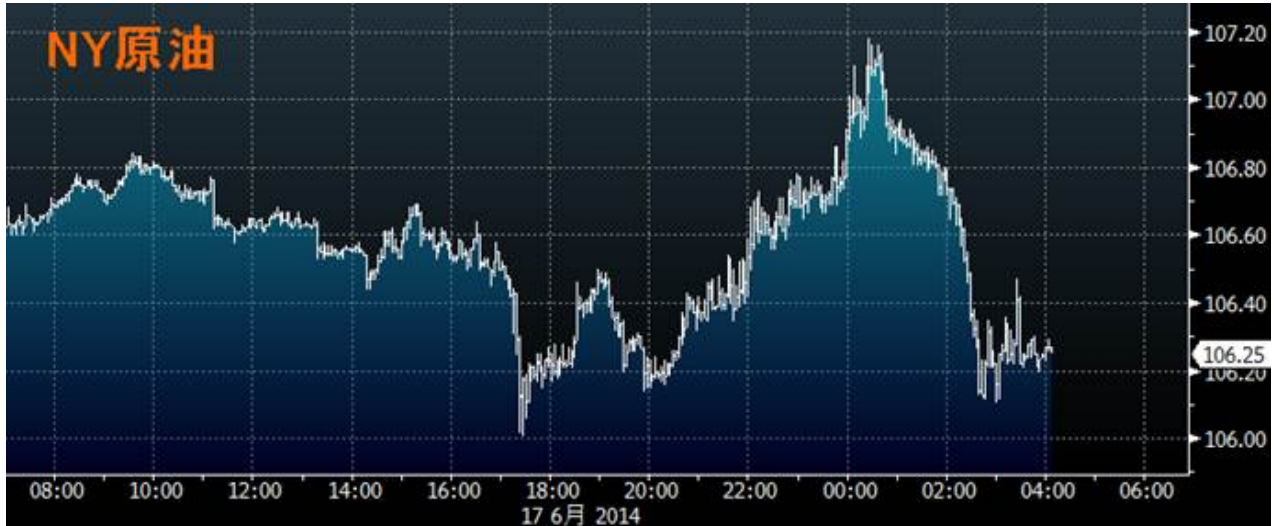
NY金は、5月の米消費者物価指数が市場予想を超える上昇となったため、投資家がリスクをとる姿勢を強め、安全資産とされる金が売られた。また、イラク情勢の緊張緩和期待も一部に広がっており、7営業日ぶりに反落した。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、イランと西洋諸国の関係改善がイラク情勢の改善に役立つとの見方から、原油供給不安がやや和らき、2営業日続落となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16808.49	+27.48	1623.55	16732.91
S&P500 種	1941.99	+4.21	1943.69	1933.55
ナスダック	4337.23	+16.13	4346.12	4311.15

(出所:SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、5月の米住宅着工件数が市場予想を下回ったのを嫌気した売りが出る一方で、割安感が出た銘柄を買い戻す動きが交錯し、主要株価は序盤もみ合いの展開となった。しかし、その後は小動きながら堅調な展開が続いた。ダウ平均株価は、序盤は軟調な動きとなり、一時前日比で48ドル安まで下落する動きとなった。その後は、プラス圏まで値を戻す動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	102.15	102.25	101.95
EUR/JPY	138.35	138.50	138.27
GBP/JPY	173.25	173.46	173.05
AUD/JPY	95.36	95.51	95.30
NZD/JPY	88.41	88.51	88.28
EUR/USD	1.3546	1.3572	1.3536
AUD/USD	0.9337	0.9366	0.9330

(出所:SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米消費者物価指数が市場予想を上回る上昇となり、米住宅着工件数が予想を下回ったものの、まずまずの結果となったことを受けて、ドルが主要通貨に対して上昇する動きとなった。その後は、株価が堅調な動きとなったことから、クロス円も堅調な動きとなった。しかし、FOMC の結果発表を控えて様子見ムードも強く、値動きは限定的となり、午後に入ると、狭いレンジ内の展開が続いた。



(出所:ブルームバーグ)

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。